

# 社会・労働関係文献月録

2014.3.1～2014.3.31受け入れ分

- ・分類表は2005年12月号に掲載されています。
- ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。掲載文献は当研究所で閲覧・複写できます。ただし紀要については、所蔵していないものもあります。
- ・所内での複写は有料です。文書等（はがき、FAX、e-mail）でお申し込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。本誌の定期購読者には、複写料の割引があります。

法政大学大原社会問題研究所編

〒194-0298 東京都町田市相原町4342  
tel: 042-783-2306 fax: 042-783-2311  
e-mail: oharains@adm.hosei.ac.jp

凡例

文献資料名 *書名	著者名	収録誌名 発行所	号または 巻一 号 版型と 頁数	発行 年・ 月
--------------	-----	-------------	------------------------------	---------------

## I 理論・一般

### 0. 総記

特集 資本の支配と限界—デヴィッド・ハーヴェイの理論	季刊変革のアソシエ	11	13. 1
デヴィッド・ハーヴェイ『資本の〈謎〉』を読む（森田成也）世界恐慌の進展とハーヴェイの恐慌論（伊藤誠）			
国連世界人権会議から 20年を振り返って（座談会）			
内閣府男女共同参画局総務課（出席：有馬真喜子 阿部浩己 橋本ヒロ子 林陽子） 共同参画		54	13. 2
原発と労働者	片岡明彦 安全センター情報	402	13. 3
高齢社会論の貧困	池野重男 大阪経大論集	63-4	12.11
先住民の「土地権（aboriginal title）」および条約上の権利をめぐる近年のカナダ憲法判例の一つの動向	守谷賢輔 関西大学法学論集	62-4/5	13. 1
「ひきこもり」経験者の生活	池内伸明 教育福祉研究（北海道大）	18	12.12
貧困状況下における子どもの生活と主体性	藤村まどか 教育福祉研究（北海道大）	18	12.12
特集 2012年度「つくる会」系教科書採択— 2015年にむけての検証	教科書レポート	55	12.12
採択をめぐる各地の動き（平井美津子，佐藤満喜子，小俣三郎，小関啓子）沖縄県八重山地区における2011中学校社会科教科書採択問題（山口剛史）中学校・高校新教科書の沖縄戦記述を検証する（石山久男）			
特集 原発政策と教科書—その過去と現在—	教科書レポート	55	12.12
安全神話の源流を探る 依然つづく財界による教科書の原発記述への圧力 皆無に近い検定意見と大量の訂正申請			
世界資本主義の危機と新自由主義（座談会）（友寄英隆 高田太久吉 萩原伸次郎）	経済	211	13. 4
Money and class	Hideki Shibata 経済学論纂（中央大）	53-2	13. 1
1920年代におけるジークフリート・クラカウアーの思想	吉野恭一郎 現代史研究	58	12.12
宗教・帝国・「人道主義」	大澤広晃 史学雑誌	122-1	13. 1
「男性稼ぎ主」型からの脱却を	大沢真理 社会運動	395	13. 2
特集 同和行政の終結と住民自治	人権と部落問題	65-3	13.2月増刊号
行政の主体性を欠如させた和歌山市（竹田政信）同和行政の終結と部落問題の解決過程（久松倫生）「同和行政」の現状と終結にむけて（植山光朗）部落解放の逆流に抗して基本的に部落問題を解決（西本正信）就職問題・青少年の進路を保障するために（末長 正）「人権条例」制定阻止のたたかひの現状と到達点（村上 保）			
高校日本史教科書はどうか変わったか	小牧 薫 人権と部落問題	65-4	13. 3
社会運動の新しい波	上野輝将 人権と部落問題	65-4	13. 3

安倍内閣の極右・タカ派人脈の系譜	俵 義文	前衛	892	13. 3
経済危機下の欧州社会モデルと新自由主義	高田太久吉	前衛	892	13. 3
千葉県における関東大震災と朝鮮人犠牲者追悼・調査実行委員会一大竹米子氏への聞き書き	田中正敬	専修大学関東大震災史研究会 専修史学	53	12.11
韓国憲法裁判所・日本軍慰安婦問題行政不作為違憲訴訟事件（憲法裁判所2011年8月30日決定 2006헌마788）	中川敏宏	専修法学論集	116	12.11
兵庫県内自治体の市民意識調査結果から	阿久澤麻理子	ひょうご部落解放	147	12.冬
ヒロシマ原爆被害者の人生を支えたもの（2）	森田裕司, 一丸藤太郎, 大澤多美子, 倉永恭子, 財満義輝, 中嶋みどり	広島経済大学研究論集	35-3	12.12
「分かち合い」の経済学（講演）	（神野直彦）	部落解放	674	13.2月増刊号
いじめと差別（講演）	（成山治彦）	部落解放	674	13.2月増刊号
震災復興と人権（講演）	（湯浅誠 遠藤雅彦 寺川政司）	部落解放	674	13.2月増刊号
「竹田の子守歌」の文脈	武島良成	部落問題研究	203	13. 1
遅れてきた人間・ついに現れた人	関口すみ子	法学志林（法政大）	110-3	132
「影の労働システム」はどのように作動していたのか	田中 宏	松山大学論集	24-4/3	12.10
「大転換」論と社会主義	岩林 彪	松山大学論集	24-4/3	12.10
社会主義的「所有論」と「市場経済論」を軸にした模索	芦田文夫	松山大学論集	24-4/3	12.10
「新しい社会主義」を考える	長砂 實	松山大学論集	24-4/3	12.10
カジノ資本主義か社会主義か	上島 武	松山大学論集	24-4/3	12.10
特集 大阪発の危機と歴史学		歴史学研究	902	13. 2
日本近現代史研究の蓄積から最近の自治体政治の分析視角を探る（源川真希）朝鮮学校補助金停止問題と植民地主義（藤永 壯）教育の政治支配と新自由主義（大内裕和）				
ロナルド・ドーア ロンドン大学LSE名誉フェロー 講演録		連合総研レポートDIO	280	13. 3
*イデオロギー論の基礎	小林一穂	創風社	B6.235	03. 6
*学生支援に求められる条件	大島勇人, 浜島幸司, 清野雄多	東信堂	A5.264	13.10
*「在日特権」の虚構	野間易通	河出書房新社	B6.205	13.11
*人権をめぐる十五講	辻村みよ子	岩波書店	B6.293	13.11
*はじめてのマルクス	鎌倉孝夫, 佐藤優	金曜日	B6.183	13.11
*非営利組織研究の基本視角	橋本 理	法律文化社	A5.309	13.11
*風景の死滅 増補新版	松田政男	航思社	B6.341	13.11
*フクシマ・沖縄・四日市	土井淑平	編集工房朔（発売：星雲社）	B6.262	13.11
*仕事と不平等の社会学	竹ノ下弘久	弘文堂	B6.227	13.12
*市民社会と自己実現	広岡守穂	有信堂	B6.315	13.12
*社会をとらえる	小林一穂	創風社	B6.197	13.12
*世界を読む国際政治経済学入門	澤喜司郎	成山堂書店	A5.216	13.12
*秘密法で戦争準備・原発推進	海渡雄一	創史社（発売：八月書館）	B6.157	13.12
*柳瀬正夢全集 1	柳瀬正夢全集刊行委員会編	三人社	A5.596	13.12
*揺らぐ主体／問われる社会	桜井智恵子, 広瀬義徳編	インパクト出版会	B6.216	13.12
*協働が変える役所の仕事・自治の未来	松下啓一	萌書房	B6.130	13. 5
*生活者と社会科学	寺田光雄	新泉社	A5.465	13. 6
*岩波講座政治哲学 5	齋藤純一編	岩波書店	A5.238	14. 1
*教育格差の社会学	耳塚寛明編	有斐閣	B6.260	14. 1
*生協総研賞・助成事業研究論文集 第10回		生協総合研究所	B5.154	14. 1
*日本共産党カクサン部！	チーム・カクサン部！	新日本出版社	15x17cm.95	14. 1
*革命と反動の図像学	小倉孝誠	白水社	B6.294	14. 2
*年次経済財政報告 平成25年度		内閣府（政策統治総括官）	A4.512	13. 7
<b>1. ジェンダー・フェミニズム・女性論</b>				
戦前日本における「優境」概念の展開と社会政策	杉田菜穂	季刊経済研究（大阪市立大）	35-1/2	12.Summer

家計に見る女性の困難	鳥山まどか	教育福祉研究 (北海道大)	18	12.12
母子世帯の母親の生活と「ケア」	内野綾子	教育福祉研究 (北海道大)	18	12.12
新聞はジェンダーをどのように表現してきたか	田中和子	女性と新聞メディア研究会 国学院法学	50-3	12.12
男女共同参画は進んでいるか	的場康子	財形福祉	39-3	13. 3
レディー・ガガ対マドンナ	福田泰子	千葉商大論叢	50-1	12. 9
居留地付き遊廓の社会構造	佐賀 朝	部落問題研究	203	13. 1
*アメリカの第二波フェミニズム	原 令子	トメス出版	B6.253	13.12
*性と法律	田由紀子	岩波書店	B40.268	13.12
*戦後初期人身売買/子ども労働問題資料集成 1~4	森野 豊編	六花出版	A5.492, A5.367, A5.364, A5.466	13.12
*ジェンダーとセクシュアリティ	大越愛子, 倉橋耕平編	昭和堂	A5.248	14. 1
*あいちの男女共同参画 平成25年度版	愛知県県民生活部社会活動推進課男女共同参画室		A4.76	13.10
<b>2. 労働論</b>				
労働コストから生活コストへ	元田厚生	経済と経営 (札幌大)	43-1	12.11
<b>3. 労使(資)関係論</b>				
労使関係の『近代化』とは何だったのか	濱口桂一郎	季刊労働法	240	13.春季
現代における個別化された労使関係の研究方法について	三吉 勉	日本労働研究雑誌	631	13.特別号
特集 スポーツ選手の組織化—その背景と世界的潮流		労働法律旬報	1785	13.2.上旬
スポーツ選手の組織化の国際化傾向 (山崎卓也) 日本のプロスポーツ選手会による労使交渉とその意義 (松本泰介) アメリカ四大リーグの労使関係 (川井圭司)				
<b>4. 労働経済論(含 賃金論)</b>				
戦時賃金統制における賃金制度	金子良事	経済志林 (法政大)	80-4	13. 3
<b>8. 社会福祉論</b>				
*韓国における新たな自立支援戦略	大友信勝編著	高菅出版	A5.177	13.10
*介護者の健康と医療機関	三富紀敬	ミネルヴァ書房	A5.408	13. 8
*障害のある子の親である私たち	福井公子	生活書院	B6.229	13. 9
<b>II 労働問題</b>				
<b>20. 総記</b>				
「グローバル化」のものと労働と生活	熊沢 透	協同組合研究	32-1	12.12
〈座談会記録〉中小企業の労働問題	(上林千恵子)	経済志林 (法政大)	80-4	13. 3
特集 貧困ビジネスとたたかう		賃金と社会保障	1579	13.2.上旬
住居提供型貧困ビジネスに対する勝訴判決の分析 (川上博之, 谷口香織) 技能実習生過労死事件について (嶋崎 量) 「無料低額宿泊施設」に対する訴訟について (常岡久寿雄)				
若年ホームレスの析出メカニズム	飯島裕子	日本労働社会学会年報	23	12.12
2013年度日本経済の姿 (改定)		連合総研レポートDIO	279	13. 2
*現代日本における労働世界の構図	高橋祐吉	旬報社	A5.275	13.12
<b>21. 雇用・労働市場</b>				
*高齢社会の労働市場分析	松浦司編著	中央大学出版部	A5.280	14. 1
<b>22. 労働条件</b>				
職場の法律相談 未消化分の年次有給休暇について	東京共同法律事務所	月刊労働組合	581	13. 2
<b>23. 賃金問題</b>				
違法な「オール歩合」賃金制に画期的勝利判決	吉根清三	月刊全労連	192	13. 2
貯金取り崩し, 一時金で穴埋めの実態 8割近くが「賃上げが重点課題」	自治労・全国一般評議会	月刊労働組合	581	13. 2
<b>24. 労働時間</b>				
トラック運転者の過酷な労働実態	浦田武昭	月刊全労連	192	13. 2

特集	短時間正社員制度の現状	労政時報	3839	13.2.8
	多様な働き方の仕組みを用意して人材の定着・活用を図る(鍋田周一) 明治安田生命保険(鍋田周一) 大丸松坂屋百貨店(鍋田周一) クロスカンパニー(鍋田周一)			
26.	パート・派遣労働			
	JAL契約制客室乗務員雇止め事件	堀 浩介	季刊労働者の権利	298 13.1月Winter
	派遣先阪急交通社に団交応諾義務を認めさせた中央労働委員会命令について	松浪 恵	季刊労働者の権利	298 13.1月Winter
	派遣先の不法行為責任を最高裁もみとめる	中谷雄二	季刊労働者の権利	298 13.1月Winter
	公立保育所における非正規労働者の諸類型と労働条件の特徴	小尾晴美	経済学論纂(中央大)	53-2 13.1
	有期契約のまま中長期に雇用—社会保険適用には雇用減か短時間化で負担回避	萩野 登	月刊労働組合	581 13.2
	労働組合による労働者供給事業の可能性(シンポジウム)(中泉真樹 本田一成 武井寛 橋元秀一 伊藤彰信 濱口桂一郎 山根木晴久 司会:高木康順)		国学院経済学	61-1 12.11
	派遣労働の本質とその広がり日本の働き方に及ぼした影響	君嶋千佳子	大学院紀要(法政大)	70 13.3
特集	労働規制緩和の転換と非正規労働		日本労働社会学会年報	23 12.12
	パートタイム労働をめぐる政策動向と課題(田中裕美子) 労働規制緩和の「転換」と「不安定就業」としての派遣・請負労働者(白井邦彦) 若年不安定就業者の経済的移行と家族形成の実態(宮本みち子)			
	非正規労働者の組織化に重要な三つの要素	李 叟珍	日本労働社会学会年報	23 12.12
	研究職派遣の自己裁量行動に関する考察	柴田好則	松山大学論集	24-5 12.12
28.	女性労働			
特集	女性の就業・出産と年金		年金と経済	31-4 13.1
	フランスの年金制度と女性の就業・出産・子育て(神尾真知子) 女性の就業, 出産の日米比較と社会保障制度への示唆(永瀬伸子) ドイツにおける働く女性の年金:年金法上の配慮とその課題(森 周子)			
	* ホワイト企業	経済産業省監修	文藝春秋	B6.213 13.11
29.	児童労働			
	児童労働とILOと日本と	野口好恵	ワークアンドライフ世界の労働	2013-1 13.2
特集	児童労働撤廃—その到達点と残る課題		アジア研ワールド・トレンド	208 13.1
	インド(中村まり) 日本(藤野敦子) 国際機関(堀内光子) 二国間協力(入柿秀俊) 市民社会(北澤 肯) ガーナ(白木朋子) カンボジア(甲斐田万智子)			
30.	若年労働			
	世界の労働市場と若年雇用:将来への展望 12億人の若者にとって, 仕事の世界とは?			
	ホセ・マヌエル・サラサーレ=シリナチス		ワークアンドライフ世界の労働	13-1 13.2
特集	厳しさを増す若者の雇用		月刊自治研	642 13.3
	若者と雇用をめぐる現状(本田由紀) 厳しさを増す若者の雇用状況(稲毛文恵) 「ブラック企業」と若年雇用問題の変化(今野晴貴) 若者就業支援政策における新しい試みとその課題(堀有喜衣) 困難を抱える若者を支援する(鈴木晶子)			
31.	中高年労働			
	* 高齢者雇用安定法の実務解説 8訂版		労務行政	A5.301 13.10
32.	障害者労働			
	知的障害者の就労実態	三原博光	職業リハビリテーション	26-1 12.10
特集	わが国におけるIPSの実践を考える~精神医療と就労支援の連携・統合の視点を踏まえて~		職業リハビリテーション	26-1 12.10
	EBPとしてのIPS労働分野における意義(春名由一郎, 東明貴久子) なぜIPSに医療が必要だったのか(中原さとみ, 飯野雄治) わが国でIPSを標榜している実践の概観(倉知延章) 精神科デイケアにおけるIPSを指標とした個別就労支援の実践(澤田恭一) 就労支援センターそらいろとACT-KにおけるIPSを指向した実践(池田克之) NPO法人コミュニティ楽創におけるIPSの実践(本多俊紀, 大川浩子) IPS援助付き雇用を精神障害をもつ			

方々の標準的な就労支援プログラムにするために必要なこと（大島 巖）IPSのもたらしたものの（松為信雄）わが国におけるIPSの現状と今後を考える（伊藤順一郎）

33. 外国人労働			
外国人介護労働者受け入れ政策に関する道徳哲学的検討の試み（3）			
	岡村 裕	杏林社会科学研究（杏林大）	28-4 13. 3
Rethinking temporary foreign workers' rights: Living conditions of technical interns in the Japanese technical internship program (TIP)	Chieko Kamibayashi	Working paper（法政大）	169 13. 3
日本における縫製業と外国人労働者	佐藤 忍	大原社会問題研究所雑誌	652 13. 2
移住家事・ケア労働者とその非可視性	宮崎理枝	大原社会問題研究所雑誌	653 13. 3
受入機関による元中国人実習生の預金管理、旅券保管について不法行為責任を認めた判決	端野真	季刊労働者の権利	298 13.1月Winter
中国人技能実習生過労死事件	指宿昭一	季刊労働者の権利	298 13.1月Winter
35. 労災、職業病、健康問題			
Identification of workers exposed concomitantly to heat stress and chemicals			
	Robert Bourbonnais, Joseph Zayed, Marc-Antoine Busque, Patrice Duguay, Ginette Truchon	Industrial Health	51-1 13. 1
Association between heat stress and occupational injury among Thai workers			
	Benjawan Tawatupa, Vasoontara Yiengprugsawan, Tord Kjellstrom, Janneke Berecki-Gisolf, Sam-Ang Seubsman, Adrian Sleigh	Industrial Health	51-1 13. 1
Heat-related illness knowledge and practices among California hired farm workers in the MICASA Study			
	Maria Stoecklin-Marois, Tamara Hennessy-Burt, Diane Mitchell, Marc Schenker	Industrial Health	51-1 13. 1
Mapping occupational heat exposure and effects in South-East Asia			
	Tord Kjellstrom, Bruno Lemke, Matthias Otto	Industrial Health	51-1 13. 1
Climate change and Occupational Health and safety in a temperate climate			
	Ariane Adam-Poupart, Audrey Smargiassi, Patrice Duguay, Marc-Antoine Busque, Tord Kjellstrom, Joseph Zayed	Industrial Health	51-1 13. 1
Occupational health impacts of climate change Ken Parsons			
		Industrial Health	51-1 13. 1
特集 Climate change and occupational heat problems			
		Industrial Health	51-1 13. 1
The Universal Thermal Climate Index UTCI compared to ergonomics standards for assessing the thermal environment (Dusan Fiala, George Havenith, Gerd Jendritzky, Kalev Kuklane, Bernhard Kampmann) Effects of heat stress on working populations when facing climate change (Karin Lundgren, Kalev Kuklane, Chuansi Gao)			
被ばく労働問題に関する関係省庁交渉の報告と課題	飯田勝泰	安全センター情報	402 13. 3
対ニチアス損害賠償裁判・地労委の闘い	全造船ニチアス・関連企業退職者分会／アスベストユニオン	関西労災職業病	430 13. 2
アドバンストラフィックシステムズ事件	光永享央	季刊労働者の権利	298 13.1月Winter
建設アスベスト被害について国の責任を断罪	小川杏子, 橋澤加世	季刊労働者の権利	298 13.1月Winter
原発被曝労働の実情と被曝労働改善のための提言（講演）（海渡雄一）		季刊労働者の権利	298 13.1月Winter
過労死・過労自殺の現状と防止策	外井浩志	労務事情	1248 13.3.15
*息子は死んだ	嶋橋美智子	新読書社	B6.205 13. 1
*原発の底で働いて	高杉晋吾	緑風出版	A5.213 14. 1
*労働者健康状況調査報告 平成24年	厚生労働省統計情報部統計調査第二課		A4.282 14. 3
36. ハラスメント			
4人に1人がパワハラを受けた経験があると回答	南雲智映 逢見直人	連合総研レポートDIO	279 13. 2

### III 労働運動

40. 総記			
職場で殺される！青年の現実	東海林智	国際労働運動	439 13. 3
争闘戦激化に危機深める安倍		国際労働運動	439 13. 3

マル青労同に結集して闘おう	兵頭淳史	国際労働運動	439	13. 3
個別賃金を重視、格差是正と相場波及目指す（インタビュー）	（須田 孝）	先見労務管理	1458	13.2.10
「声」をあげる企業別組合		日本労働研究雑誌	631	13.特別号
最大の産別組織足場は職場に（インタビュー）		ひろばユニオン	612	13. 2
経済分析と労働運動（座談会）（パネラー：石水喜夫 早川行雄 松井健 小原成朗 仁平章 司会進行：古賀一志）		労働法律旬報	1783/1784	13.1月合併号
*15歳からの労働組合入門		毎日新聞社	B6.222	13.11
<b>41. 労働組合・運動論</b>				
格差社会に立ち向かう労働組合運動再生の条件		月刊全労連	192	13. 2
『地域・職場からの復興・再生—労働組合の奮闘の記録—』（概要）		連合総研レポートDIO	280	13. 3
*おおさかの労働組合 平成24年		大阪府総合労働事務所	A4.3	12
<b>43. 地域別、産業別共闘</b>				
夢と希望あふれる地域の実現めざし制度の壁をぶち破ろう	山下孝広	月刊全労連	192	13. 2
*日本マスコミ文化情報労組会議50年史	日本マスコミ文化情報労組会議		A4.72	14. 2
*春闘ハンドブック 2014		情報産業労働組合連合会	A4.335	14. 1
*情報労連賃金実態調査 2013年度		情報産業労働組合連合会	A4.247	14. 1
*総合労働条件調査報告書 2013年度版		情報産業労働組合連合会	A4.226	14. 1
*労働条件実態調査 2013年度	日本紙パルプ紙加工産業労働組合連合会		A4.271	14. 1
<b>44. 単産、単組</b>				
この人と1時間（インタビュー）	（逢見直人）	月刊労働組合	581	13. 2
*40年のあゆみ	神奈川土建一般労働組合西相支部		A4.24	13
<b>48. リストラ・雇用対策</b>				
安定した雇用と労働力確保が経済・社会の発展につながる	廣岡元穂	月刊全労連	192	13. 2
直営校は質を維持する拠点	谷上晴彦	月刊全労連	192	13. 2
<b>49. 権利闘争</b>				
「権利への攻撃に妥協すべきでない」労働組合の国際的なたたかいを	全労連国際局	月刊全労連	192	13. 2
<b>51. 教育文化宣伝活動</b>				
*憧憬の山々	安田一郎	本の泉社	B6.206	13. 7
<b>52. 労働組合と政治</b>				
2013年 労働運動の原点を大切に！	小田川義和	月刊全労連	192	13. 2
総選挙闘争を振り返って	田島恵一	月刊労働組合	581	13. 2
特集 選挙結果が問うもの		連合総研レポートDIO	280	13. 3
参加民主主義の課題（坪郷 實）2012年総選挙の歴史的意味（中北浩爾）心をつくる労働運動（篠田 徹）				
<b>53. 労働組合と社会問題、社会運動</b>				
遠藤公嗣編著『個人加盟ユニオンと労働NPO—排除された労働者の権利擁護』（書評）	呉 学殊	大原社会問題研究所雑誌	652	13. 2
欧州労働組合の新自由主義反対闘争の新段階	宮前忠夫	経済	211	13. 4
TPP交渉参加反対の取り組み	坂口正明	月刊全労連	192	13. 2
オスプレイ配備反対のたたかい	嶺間信一	月刊全労連	192	13. 2
介護改善すすめる運動を地域から	坂本 論	月刊全労連	192	13. 2
住民要求実現求め、全県縦断行動30年	杉 勝則	月刊全労連	192	13. 2
被災地で、地域住民との結びつきを大切に	藤田和恵	月刊全労連	192	13. 2
若者に未来を	出口憲次	月刊全労連	192	13. 2
*ファンド規制と労働組合	野中郁江、全国労働組合総連合編著	新日本出版社	B6.189	13.12
<b>54. 労働者福祉・協同組合運動</b>				
医療制度と協同組合医療	細江詢次	協同組合研究	32-1	12.12
韓国医療生協の生成と活動の現況	李 香淑	協同組合研究	32-1	12.12

韓国の「協同組合基本法」について	丸山茂樹	協同組合研究	32-1	12.12
原子力災害が地域農業へ与えた影響と協同組合の取り組み	高橋祥世, 小山良太	協同組合研究	32-1	12.12
*ロバート・オウエン協会年報 37		ロバート・オウエン協会	A5.161	13. 3

#### IV 経営労務

##### 60. 総記

【資料】経団連『経営労働政策委員会報告 2013年版』第3章 今次労使交渉・協議に対する経営側の基本姿勢 (抜粋)	日本経済団体連合会	月刊労働組合	581	13. 2
特集 環境変化に対応する 企業を持続的成長に導く組織開発の視点	人材教育		290	13. 2
組織開発とホールシステム・アプローチ (金井壽宏) 組織を俯瞰し、有効な手法を組み合わせ最適なアプローチで臨む (増田弥生) ピーター・センゲの「組織開発」 (小田理一郎)				
部下を大事にすると	矢鳴浩一	連合総研レポートDIO	280	13. 3
特集 中小企業でいきいき働く		労働の科学	68-2	13. 2
中心市街地活性化と駐車場利用者の安全 (濱崎 勲) 組織的な取り組みで協力会社の安全衛生を確保する (濱田一宏) 本社専門部署からの各事業場への支援と安全衛生活動の活性化 (平山淑子) CSR活動と地域中小企業の活性化 (間藤雅夫) 中小企業における働き方 その現在と行方 (八幡成美) 小規模事業場の主体的な安全保健活動 (池田智子)				
*労働契約法・高年法・派遣法2012年改正と実務対応		第二東京弁護士会	B5.90	13. 3

##### 61. 人事・労務管理

労働CSRと企業の財務業績の関係	矢野良太	関西大学大学院人間科学 (関西大)	78	13. 3
長寿企業における雑用を通じた技能伝承と人材育成にかんする一考察	曾根秀一	大阪経大論集	63-4	12.11
65歳雇用にに向けた人事制度の再設計を探る	溝上憲文	賃金事情	2646	13.2.20
嘱託社員 (継続雇用者) の活用方針と人事管理	藤波美帆	日本労働研究雑誌	631	13.特別号
特集 残業削減・業務効率化をどう進めるか		労政時報	3837	13.1.11
野村総合研究所 (労務行政研究所編集部) 図書印刷 (労務行政研究所編集部) NTTコミュニケーションズ (労務行政研究所編集部) 実務視点から見た 時間外労働削減に向けたアプローチ (広田 薫) 事業戦略コンサルタントが解説する 業務効率化を実現する8ステップと現場管理職・人事部門の役割 (安藤 紫) 常態化している長時間労働にメスを入れ、成果を上げる3社の事例 (労務行政研究所編集部)				

##### 62. 賃金管理

2013年 春季労使交渉にのぞむスタンスと人事賃金管理の方向	産労総合研究所	賃金事情	2645	13.2. 5
*賃金・労働条件総覧 2014年版	産労総合研究所編	経営書院	B5.424	14. 2

##### 64. 定年制, 退職金, 企業年金

我が国企業年金運用の課題と動的資産運用管理の可能性について	平井友行	千葉商大論叢	50-1	12. 9
*地方公務員共済年金制度の解説 平成25年度版	地方公務員共済年金制度研究会編	ぎょうせい	B5.171	13. 9

##### 66. 教育・訓練

繊維産業における技能継承と人材育成をめぐる課題	江頭説子	大原社会問題研究所雑誌	652	13. 2
教員のキャリア形成を校長はどう考えているか	古市好文	日本労働研究雑誌	631	13.特別号
特集 グローバルリーダーの育成を考える		労政時報	3837	13.1.11
グローバルリーダー育成の最新動向 (永禮弘之) 事例に見るグローバル人材マネジメントとリーダー育成 (島田 智)				

##### 68. 安全衛生管理

原発被曝労働と労働者保護の法的構造	萬井隆令	季刊労働法	240	13.春季
職場における若年性認知症の対応と支援	高野知樹	健康保険	67-2	13. 2

職場におけるメンタルヘルスの確保・政府の自殺対策などについて

	米山正敏	社会保険旬報	2521	13.2.1
メンタル不調者の復職への対応	本田和盛	労働法学研究会報	2545	13.3.15

V 労働・社会政策

70. 総記

特集 2012年度東北学院大学東北産業経済研究所公開シンポジウム 東北企業の海外進出一持続的かつ実りのあるものにするためには— 東北学院大学東北産業経済研究所紀要(東北学院大) 32 13.3

海外進出のための経営イノベーション(報告)(シンポジウム)(柴田 孝) アジアでの経済活動の実情(報告)(シンポジウム)(怡田幹雄) 『ニッポン』を世界へ売り込め、ローカル中小企業の挑戦(報告)(シンポジウム)(橋浦隆一) 宮城県産品の海外販路開拓とジェトロの取組(報告)(シンポジウム)(中川明子) 地域でつながり、世界とつながる(講演)(シンポジウム)(戸堂康之)

特集 復興と地域社会—東日本大震災から2年 月刊福祉 96-3 13.3

社会福祉関係者の復旧・復興の歩み(全国社会福祉協議会政策企画部広報室) 社会福祉協議会の復興(新開正和) 石巻市社会福祉協議会の復興支援活動(阿部由紀) 子どもたちは今(刈谷 忠) これまでの2年、そしてこれから(中川正勝) 福島福祉人材の現状(村島克典)

13年版「連合白書」を読む 菅原修一 月刊労働組合 581 13.2

石巻市における復旧・復興の現状と課題 笹野 健 週刊社会保障 2718 13.3.11

「ワークフェア」は貧困を解決できるか? 都留民子 賃金と社会保障 1581 13.3.上旬

入管政策の動向と労働市場 早川智津子 日本労働研究雑誌 631 13.特別号

労使紛争の現状と政策課題 中窪裕也 日本労働研究雑誌 631 13.特別号

労使紛争の現状と政策課題 呉 学殊 日本労働研究雑誌 631 13.特別号

労働審判手続の解決と企業への影響 高橋陽子 日本労働研究雑誌 631 13.特別号

トラブルを未然に防ぐ「労使慣行」の法律知識 渡邊岳, 加藤純子 労政時報 3838 13.1.25

\*労働行政関係職員録 平成25年版 労働新聞社 A5.578 13.10

71. 雇用・労働市場政策

特集 施行直前!改正高年齢者雇用安定法 65歳までの円滑な継続雇用に向けて社労士に期待される役割とは!? 月刊社労士 49-2 13.2

継続雇用制度の円滑な運用に向けた実務上の留意点(広田 薫) 経営実態に即した雇用確保措置の選択と基準の明確化が労使の利益につながる(村上宏史) 企業と労働者の実情をふまえた継続雇用に向けて(金 綱孝) 改正高年齢者雇用安定法のポイントと今後の高年齢者雇用対策(インタビュー)(中山明広)

公契約規整の意義と課題(報告)(古川景一) 季刊労働者の権利 298 13.1月Winter

特集 再就職支援事業に対する法規制の国際比較 季刊労働法 240 13.春季

フランスの再就職支援制度(矢野昌浩) 日本における再就職支援事業の状況と法的課題(根本 到) ベルギーにおける再就職支援制度(大和田敢太) ドイツにおける再就職支援の法制と実情(藤内和公)

74. 安全衛生政策

吸収分割会社とその労組・吸収分割継承会社とその労組による障害を有する労働者への勤務配慮廃止の合意の効力 小畑史子 労働基準 65-2 13.2

労働安全衛生におけるジェンダー 大森真紀 早稲田社会科学総合研究 13-2 12.12

75. 職業教育・訓練政策

就労トレーニングのためのバーチャルオフィスのコンセプト提案 山中康弘, 伊藤和幸, 井上剛伸 研究紀要(国立障害者リハビリテーションセンター) 32 12.9

普通教育における職業に関わる教育 森下一期 産業教育学研究 43-1 13.1

認定職業訓練(共同職業訓練)が提供するサービスの規模・構造と課題 大木栄一 日本労働研究雑誌 631 13.特別号

76. 社会保障政策

激動する環境の中での、当法人の考え方と事業展開を振り返る 落合将則 介護人材Q&A 10-100 13.2

社会保障制度の構築こそ、ディーセントワークへの道 都留民子 いのちとくらし研究所報 41 13.2



特集 貧困問題と生活保護制度の再検討	いのちとくらし研究所報	41	13. 2
生活支援戦略（新たな生活支援体系）を読み解く（岡部 卓）あるべき生活保護基準とその重要性（布川日佐史）はじめに（吉永 純）生活保護基準額の引下げによって影響・被害を受ける制度概要（吉永 純）			
総合特区による協議を踏まえたデイサービス事業所での緊急時の宿泊サービスの提供	小林秀幸	介護保険情報	13-12 13. 3
厚生年金基金の存続に向けて	中林宏信	企業年金	402 13. 2
「教育無償化をすすめる国」の教育費・奨学金の現状と課題	岡村 稔	月刊生活と健康	1009 13. 2
特集 障害者の医療を考える		月刊保団連	1114 13. 2
障害者歯科医療において配慮すべき点（服部 清）障害のある子どもの生活上の問題点と在宅支援（田中聡一郎）聴覚障害者外来の取り組みから（藤田 保）障害者・高齢者の在宅生活を支える住居を考える（馬場昌子）「障害者医療」とはなにか（高谷 清）			
特集 療養費改定の現状と課題／難病対策の現状と課題		健康保険	67-3 13. 3
療養費を巡る最近の動きについて（竹林経治）療養費制度の見直しにおける視点（健康保険組合連合会 医療部 医療情報グループ）難病対策の改革の方向性について（西嶋康浩）難病患者との40年（福永秀敏）			
地域包括ケアの展望 市町村の役割	宮島俊彦	社会保険旬報	2517 12.12.21
北欧諸国等の医療経済評価	白岩健, 五十嵐中, 池田俊也, 福田敬	社会保険旬報	2520 13.1.21
介護保険と障害者支援	矢田貝泰之	社会保険旬報	2522 13.2.11
特養の内部留保に関する一考察（下）	松原由美	社会保険旬報	2524 13.3. 1
がん対策と社会保障制度の交差点と課題	棟居徳子	週刊社会保障	2711 13.1.21
社会保障の基本原則を求めて	松葉ひろ美	週刊社会保障	2712 13.1.28
協会けんぽ都道府県別保険料率や激変緩和措置も凍結		週刊社会保障	2714 13.2.11
制度の段階的縮小・廃止は「妥当」で概ね一致		週刊社会保障	2714 13.2.11
調剤薬局ポイントの解決策	喜多村悦史	週刊社会保障	2714 13.2.11
自・公は現行制度の改善, 民主は抜本的改革を主張		週刊社会保障	2715 13.2.18
支所間差異の解消や説明責任が重要な課題に		週刊社会保障	2715 13.2.18
米国医療の最新動向:病院船と地域医療	真野俊樹	週刊社会保障	2715 13.2.18
特集 協会けんぽの特例措置は平成26年度まで2年間延長		週刊社会保障	2713 13.2. 4
リバース・モーゲージは新たな老後保障になるか	王 文亮	週刊社会保障	2713 13.2. 4
アベノミクスは社会保障の救世主になれるか	若杉敬明	週刊社会保障	2718 13.3.11
在職老齢年金はどうあるべきか	堀 勝洋	週刊社会保障	2718 13.3.11
軽減税率の導入を福祉の視点から考える	結城康博	週刊社会保障	2719 13.3.18
特定保健指導で医療費は削減できるか？	川渕孝一	週刊社会保障	2719 13.3.18
違法な指導指示に基づく生活保護廃止処分の違法性と国家賠償請求の可否	今川奈緒	賃金と社会保障	577/1578 13.1月合併号
生活保護京都訴訟・京都地方裁判所判決（平成23年11月30日）		賃金と社会保障	1577/1578 13.1月合併号
特集 生活保護における就労支援		賃金と社会保障	1577/1578 13.1月合併号
生活保護ケースワークにおける就労支援で大切にしたいこと（松倉あゆみ）日常生活自立, 社会生活自立を重視した就労支援（箕輪亜由美）難病をかかえた利用者に対する就労支援からケースワークについて考える（仲野浩司郎）生活保護における就労支援の課題（池谷秀登）本人の力を引き出す支援とは（森下千鶴子）			
特集 生活保護における就労支援・その2		賃金と社会保障	1581 13.3.上旬
連携して支援にあたる重要性（溝渕玄竜）就労支援に必要な自尊感情の回復（舘谷忠範）「寄り添い, 希望をもって待つ」就労支援の展開（衛藤 晃）			
社会保障・税一体改革と年金改革法について	和田幸典	年金と経済	31-4 13. 1
障害者政策委員会のチャレンジ（座談会）			
（石川准 氏田照子 三浦貴子 東俊裕 司会：藤井克徳）		ノーマライゼーション	33-1 13. 1
生活保護制度の今日的状況と課題（講演）	道中 隆	部落解放	674 13.2月増刊号
社会保障制度運営の財政と金融について	荒又重雄	北海道自治研究	528 13. 1

特集 社会保障制度の課題—新しいアプローチと分野—	三田学会雑誌 (慶応義塾大)	105-4	13. 1
市町村民税非課税世帯の推計と低所得者対策 (田中聡一郎) 被保護母子世帯の就業 (山田篤裕, 駒村康平, 大津唯, 渡辺久里子) 低所得世帯の居住水準の実証研究 (丸山桂, 駒村康平)			
特集 中小病院の課題	民医連医療	488	13. 4
ふらて会グループの理念・戦略と実践 (西野憲史) 老人・在宅・リハ医療の重視・展開を担う (横田祐介) 病院のポジショニングを明確にし質の高い慢性期医療をめざす展望と課題 (平田 濟) 県連医療構想を軸に医師体制に見合う医療展開と経営改善 (蓮井宏樹) 民医連中小病院の挑戦 (吉中丈志) 中小病院の生き残り戦略 (徳田禎久)			
雇用と所得の増加を伴う, 持続的な成長へ	久保田泰雄	連合総研レポートDIO	279 13. 2
年金支給年齢引き上げと高齢者雇用 (2013年問題)	小島 茂	連合総研レポートDIO	279 13. 2
働くがん患者への就業支援に関する現状調査: 専属産業医インタビューを通じて	立石清一郎, 田中宣仁, 森晃爾	労働科学	88-4 12. 8
病気を抱えた労働者の職場復帰や治療と就労の両立支援	今野浩一郎	労働法学研究会報	2542 13.2. 1
<b>77. 社会福祉政策</b>			
社会福祉施策の経済効果の算出			
我澤賢之, 海野耕太郎	研究紀要 (国立障害者リハビリテーションセンター)	32	12. 9
看護・介護のマネジメントをどう考えるか (対談) (福田啓造 竹内美佐子)	介護人材Q&A	10-100	13. 2
特集 在宅医療・介護の連携	介護保険情報	13-10	13. 1
在宅医療の推進に向けて地域の医療・介護関係者を総動員 顔の見える仲間づくりと研修会等で在宅医療・介護の連携を推進			
介護の質評価をどのように考えるのか (下)	松田晋哉	介護保険情報	13-12 13. 3
特集 認知症介護研究・研修の動向		介護保険情報	13-12 13. 3
これまでの研究成果・現場での実践をふまえて介護・福祉面を中心に取り組みを進める (インタビュー) (加藤伸司 阿部哲也 吉川悠貴 矢吹知之 堀村和弘) 認知症ケアの人材養成が大きな課題 ケアマネジャーと医師の連携に期待 (インタビュー) (本間 昭) エビデンスに基づいたパーソン・センタード・ケアの普及と若年性認知症の支援・啓発活動を推進 (インタビュー) (柳務 小長谷陽子)			
特集 子ども・子育て関連3法の本格施行に向けて		連合総研レポートDIO	279 13. 2
「子育て」の声を聴く (沼尾波子) 子ども・子育て支援の歩みと新制度の意義や課題 (吉田正幸) 子ども・子育て支援新制度 (椋野美智子)			
地域福祉サービスのあり方に関する調査研究報告書 (概要)		連合総研レポートDIO	279 13. 2
*デンマークの選択・日本への視座	野口典子編著	中央法規出版	A5.238 13.12
<b>78. 労働法</b>			
労働法制の動向と労使の役割 (講演)	(水町勇一郎)	月刊労委労協	681 13. 2
ドイツ解雇法における再雇用請求権の法理	藤原稔弘	関西大学法学論集	62-4/5 13. 1
改正労働契約法の実践的活用を	水口洋介	季刊労働者の権利	298 13.1月Winter
偽装請負における労組法上の「使用者」判断の基準	萬井隆令	季刊労働者の権利	298 13.1月Winter
労働契約法20条と格差是正に向けての課題	中野麻美	季刊労働者の権利	298 13.1月Winter
イギリスにおける団体交渉の盛衰 (そして再興?): 1912年-2012年			
K.D.ユーイング (K.D.Ewing) 翻訳: 古川陽二・有田謙司		季刊労働法	240 13.春季
ドイツ労働法文献研究 (一)	山川和義	季刊労働法	240 13.春季
ニッパダイの労働法思想と理論	高橋賢司	季刊労働法	240 13.春季
ベトナム労働組合法 (2012年法)	斉藤善久	季刊労働法	240 13.春季
特集 改正派遣法を職場で活かそう!		月刊労働組合	581 13. 2
継続して働かせてほしい (本誌取材班) 顧客のクレームで雇い止めに (本誌取材班) 保護法への転換の意味は重要 (梅田和尊) 連携強化し規制緩和を止める (横田昌三)			
有期労働契約の雇止め制限法理に関する実証分析	戸田淳仁	日本労働研究雑誌	631 13.特別号

最近の有期労働契約（期間雇用）をめぐる判例と改正労契法（鼎談） （外井浩志 小川英郎 山本圭子）	労働判例	1057	13.1.1/15
改正派遣法の政省令解説と企業の実務対策	木下潮音 労働法学研究会報	2542	13.2. 1
「規制システム」としての労働者保護法の課題	根本 到 労働法律旬報	1783/1784	13.1月合併号
特集 有期労働契約法制—労働契約法改正を受けて	労働法律旬報	1783/1784	13.1月合併号
改正労働契約法・有期労働契約規制をめぐる解釈論的課題（毛塚勝利）韓国における期間制勤労契約（有期労働契約）に関する法規制とその運用上の論点（徐 命希）改正労働契約法を正しく活用しよう（水口洋介）改正有期労働契約法制の抜本的再改正を（斉藤耕平）JMIUにおける非正規雇用労働者の組織化と運動（三木陵一）すべての労金労働者を代表する労働組合をめざして（石田輝正）郵政での有期労働者の実態とその取組み（福本慶一）JAL契約制客室乗務員の導入経緯と労働組合の取組み（木谷憲子）非正規公務員の実態とその取組みについて（白石 孝）ハローワーク非正規職員の実態と組合としての取組み（駒井 卓）労働契約法改正後の有期雇用（西谷 敏）			
日本航空整理解雇事件を考える	深谷信夫 労働法律旬報	1783/1784	13.1月合併号
非常勤講師の雇止めと労働法理	萬井隆令 労働法律旬報	1783/1784	13.1月合併号
有期労働契約の更新拒絶と解雇権濫用法理	盛 誠吾 労働法律旬報	1785	13.2.上旬
改正労働契約法と実務	中川恒彦 労務事情	1246	13.2.15

79. 労働判例

エヌ・ティ・ティ・コムチェオ事件	山本陽大 季刊労働法	240	13.春季
長時間労働の抑制とメンタルヘルス不調者の復帰支援をめぐる課題	所 浩代 季刊労働法	240	13.春季
複数の職場で就労した労働者のくも膜下出血死と業務起因性	小牟田哲彦 季刊労働法	240	13.春季
賃金減額に対する黙示の承諾の認定と労働条件の明示	長谷川聡 専修法学論集	116	12.11

80. 労働委員会

使用者側参与委員の役割と具体的対応（講演）	（音部昌宏） 月刊労委労協	681	13. 2
労働委員会による不当労働行為の救済	宮里邦雄 季刊労働法	240	13.春季
特集 労働委員会の現在と課題	季刊労働法	240	13.春季
岐路に立つ労働委員会（道幸哲也）労働委員会の役割像：未来学的接近（仁田道夫）労働委員会に求められる問題意識（水谷研次）			
* 不当労働行為事件命令集 《24年9月～12月・154（1）、（2）》	中央労働委員会事務局	A5.1892	13
* 青森県労働委員会年報 平成二十二年・平成二十三年（二年誌）	青森県労働委員会	A5.88	12. 5

VI 世界労働

90. 総記

特集 海外の労働組合からなにを学ぶか—企業別組合の弱点克服をめざして	労働総研クォーターリー	89	13.冬季
イタリアCGILの組織構造と活動（斉藤隆夫）米労働組合運動にかんする基本的な整理（岡田則男）ドイツにおける産別労働組合と事業所の関係（大重光太郎）現代アメリカ労働運動の断面（兵頭淳史）			

91. アジア

アジア太平洋地域における労使関係の課題	鈴木則之 ワークアンドライフ 世界の労働	2013-1	13. 2
最新！ 中国の労働紛争の実際とその解決制度について（講苑）	（山下 昇） 中央労働時報	1157	13. 2

99. ILO, 国際機関

ILOが家事労働で報告書	酒田 恵 月刊労働組合	581	13. 2
--------------	-------------	-----	-------

VII 歴史

100. 総記

ポスト社会主義国における職業と人生選択：カザフスタンのある朝鮮人の事例より	風戸真理 紀要（神戸山手大学）	14	12.12
吉田なかさん、あけみさんに聞く（インタビュー） （吉田なか 吉田あけみ 聞き手：桑原敦子）	明日を拓く	97/98	12.12

戦前の日本の児童虐待に関する研究と論点	吉見 香	教育福祉研究 (北海道大)	18	12.12
* 同時代史としてのベトナム戦争	吉沢 南	有志舎	B6.251	10. 2
* 吉本隆明の一九四〇年代	渡辺和靖	べりかん社	B6.278	10. 4
* 現代日本政治史 3	中島琢磨	吉川弘文館	B6.318	12. 3
* 吉本隆明の戦後	渡辺和靖	べりかん社	B6.301	12. 3
* 戦後思想史の探求	鈴木 正	平凡社	A5.497	13.10
* 流着の思想	富山一郎	インパクト出版会	B6.375	13.10
* わが農業問題研究の軌跡	暉峻衆三	御茶の水書房	A5.300	13.11
* 韓国独立運動家鷗波白貞基	韓国国民文化研究所編著 草場里見訳	明石書店	B6.344	14. 1
* 棚橋小虎日記 (昭和十八年)		法政大学大原社会問題研究所	A4.99	14. 1
* 反原発へのいやがらせ全記録	海渡雄一編	明石書店	B5.106	14. 1
* 岩波講座日本歴史 15	大津透他編	岩波書店	A5.317	14. 2
<b>101. 生活・労働史 (日本)</b>				
大門正克編著『新生活運動と日本の戦後一敗戦から1970年代』(書評)	榎 一江	大原社会問題研究所雑誌	652	13. 2
<b>102. 生活・労働史 (外国・国際)</b>				
* 万人坑を訪ねる	青木 茂	緑風出版	B6.291	13.12
* スターリニズムの経験	松井康浩	岩波書店	B6.207	14. 2
<b>103. ジェンダー・フェミニズム・女性史 (日本)</b>				
京都看病婦学校開設運動の再検討	田中智子	キリスト教社会問題研究 (同志社大)	61	13. 1
<b>104. ジェンダー・フェミニズム・女性史 (外国・国際)</b>				
歴史研究におけるジェンダー視点	垂水節子	現代史研究	58	12.12
* 折られた花	マルゲリート・ハーマー著 村岡崇光訳	新教出版社	B6.212	13.11
<b>105. 社会事業・慈善事業史</b>				
二〇世紀初頭の東京における貧困層救済	町田祐一	日本歴史	778	13. 3
* 戦前期仏教社会事業の研究	中西直樹, 高石史人, 菊池正治	不二出版	A5.162	13. 8
<b>106. 社会・労働政策史 (日本)</b>				
湯之見分校における院内教育の歴史的研究	宮部修一	水俣学研究 (熊本学園大)	4	12. 3
* 職業指導・少年職業紹介 第1巻～第11巻	加瀬和俊監修	近現代資料刊行会		
	A5.468, A5.440, A5.503, A5.576, A5.541, A5.636, A5.529, A5.534, A5.514, A5.353, A5.422			13.12
* 日本農民政策史論	伊藤淳史	京都大学学術出版会	A5.345	13.12
<b>108. 労働運動史 (日本)</b>				
* もうひとつの国鉄闘争	和田弘子	三一書房	A5.326	13.11
<b>109. 労働運動史 (外国・国際)</b>				
* 賃金差別を許さない!	リリー・レッドベター著 ラニアー・S. アイソム聞き手 中窪裕也訳	岩波書店	B6.301	14. 1
<b>110. 社会主義運動史 (日本)</b>				
構造改革論再考—加藤宣幸氏に聞く (下) (インタビュー) (加藤宣幸)		大原社会問題研究所雑誌	652	13. 2
* 大杉栄伝	栗原 康	夜光社	B6.318	13.12
<b>111. 社会主義運動史 (外国・国際)</b>				
* 世紀の崩落	黒田寛一著 黒田寛一著作編集委員会編	あかね図書販売	B6.413	13.12
<b>112. 諸社会運動史</b>				
関東水平運動と平野小剣	朝 治武	明日を拓く	96	12.11
地租改正期, 部落における土地を守る闘い	小島正次	明日を拓く	96	12.11
東ドイツの学生による「抵抗」とハンガリー動乱	鈴木美和子	現代史研究	58	12.12
ハンセン病闘争に人生をかけ人間の尊厳をかちとった曾我野一美さんを追悼する	小林袈裟雄	人民の力	980	13.2.15
琵琶湖の水環境をめぐる市民運動史	井手慎司, 伊藤真紀	生活協同組合研究	445	13. 2

* 「島ぐるみ闘争」はどう準備されたか	森宣雄, 鳥山淳編著	不二出版	A5.283	13.10
* 未来へつなぐ解放運動	宮本正人	明石書店	B6.350	13.11
* 燃ゆる海峡	小野沢稔彦, 中村葉子, 安井喜雄編	インパクト出版会	A5.331	13.11
* 沖縄／基地社会の起源と相克	鳥山 淳	勁草書房	A5.278	13. 3
* 田中正造翁余録 上, 下	島田宗三	三一書房	B6.385, B6.550	13. 9
* 伊方原発設置反対運動裁判資料 5～7, 別冊	澤正宏解説編	クロスカルチャー出版	B5.603, B5.425, B5.592, B5.74	14. 2

## お詫びと訂正

本誌667号に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

72ページ

誤：介護者とその役割に対する良い社会的な認知を始め、貧困や金銭的な苦勞…

正：介護者とその役割に対するより良い社会的な認知を始め、貧困や金銭的な苦勞…

誤：一般開業医による介護者の確認

正：医療機関による介護者の確認

73ページ

誤：第一次医療による確認と紹介である

正：一次医療による確認と紹介である

74ページ

誤：「家族」が完全に忘れられている

正：「家族」は、太田氏によって完全に忘れ去られる

75ページ

誤：古川考順

正：古川孝順